

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成29年度】

1 利用者支援事業

事業概要	子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供を行い、必要に応じてそれらの相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業
事業目的 (目指すべき目標)	個々の家庭状況に則した適切なサービス利用が円滑に図られるよう相談・助言や関係機関との連絡調整を実施する。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	専任の相談員を配置する。

事業費(円)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
		決算	決算	予算	決算	予算	予算
	事業費	1,651,370	1,673,792	1,664,000	1,636,130	3,562,000	
	特定財源	国庫支出金	548,000	557,000	554,000	545,000	1,186,000
		道支出金	548,000	557,000	554,000	545,000	1,186,000
		その他					
	一般財源	555,370	559,792	556,000	546,130	1,190,000	

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	実績		実績	実績	実績	見込み	見込み
	実施か所数	か所	1	1	1	2	2
	【特記事項】						

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	実績		実績	実績	実績	見込み	見込み
	相談件数	件	176	258	370	536	536
	【特記事項】 同一人物の複数の相談に対し助言等行ったものは、それぞれの相談内容を1件と数えている。						

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	実施箇所数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
★事業計画策定済み★	需要量の見込み(か所)	1	1	1	2	2
	確保方策(か所)	1	1	1	2	2
	実績(か所)	1	1	1		

【事業評価】 A: 事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B: 事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。 C: 事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。						
事業実施者による事業評価		A	A	A		
小樽市子ども・子育て会議における事業評価		A	A	A		

<確保方策> 事業計画から抜粋	子どもの保護者からの教育・保育施設・地域子育て支援事業などの利用に関する相談に応じるとともに、個々の家庭状況に則した適切なサービス利用が円滑に図られるよう本市(こども育成課)に選任の相談員1名の配置を継続するとともに、近年の相談件数の増加や相談内容の複雑化に対応するため相談機能強化を目指し、設置箇所数の増加について検討します。
--------------------	--

◆平成29年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)	前年度より引き続きこども育成課窓口(利用者支援専門員)を配置したことにより、子ども又は保護者の身近な場所において保護者の様々な状況に合わせたサービスの情報提供をし、相談に対する助言等を行うことができた。また、市ホームページ及びfacebookへの掲載並びにパンフレットの配布(子育て支援センター等)を行うことで、保護者への利用者支援事業の存在を広く広報し利用拡大を図った。
-----------------------------	--

◆平成30年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)	従来からこども育成課に配置している特定型(子育て家庭等から保育サービスに関する相談に応じ、情報提供や利用に向けての支援などを行うもの)1名に加え、新たにこども福祉課に基本型(子育てに関する幅広い相談に応じ、情報提供や支援を行うとともに、関係機関との連絡調整や連携、協働の体制作りを行うもの)1名を配置することで、幅広い保護者のニーズに合わせた適切な助言や提案を行い、家庭状況に則したサービス利用が円滑に図られるようにする。
---------------------------------	---